



糖尿病

JR札幌病院では、地域のかかりつけ医の先生と緊密に連携しながら、総合病院としての機能を最大に生かし、糖尿病の適切な病態管理、合併症の予防に取り組んでいます。

監修 JR札幌病院
腎臓内科 / 糖尿病内科 科長
感染防止対策部 部長

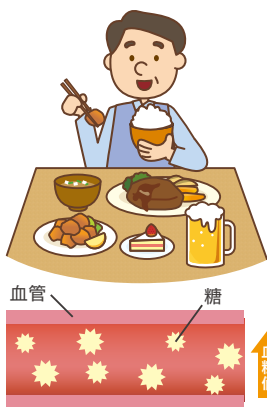
富樫 信彦 先生



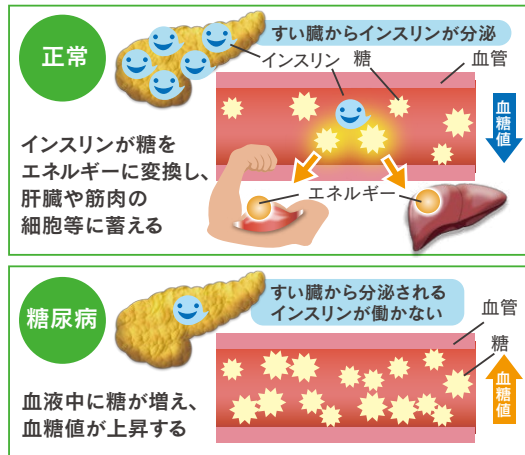
「糖尿病」の基礎知識

1. 糖尿病とは

糖尿病は、すい臓から分泌されるインスリンが原因し、血液中にブドウ糖が増え、血糖値が高くなる病気です。糖尿病は主に、1型糖尿病と2型糖尿病に大別されます。

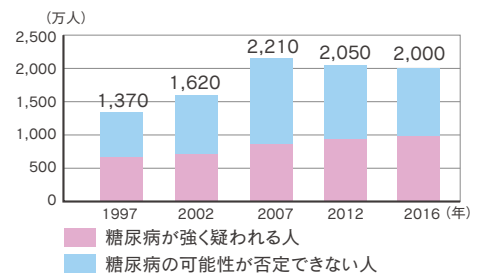


食事をすると血中の血糖値が上昇



1型糖尿病 = インスリンが足りない
すい臓の機能の低下により、十分なインスリンが作れなくなってしまうことで発症します。

2型糖尿病 = インスリンが働かない
生活習慣（運動不足や食べ過ぎによる肥満）が関係して発症します。糖尿病患者の約95%以上が2型糖尿病です。



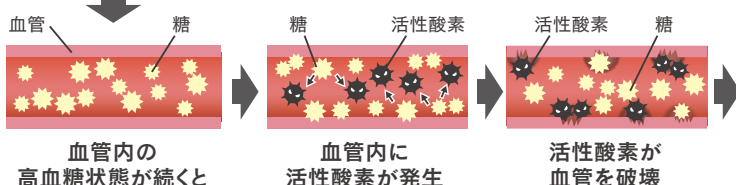
「2016年国民健康・栄養調査」によれば「糖尿病が強く疑われる人」と「糖尿病の可能性を否定できない人」は、2007年の調査以降減少傾向にあります。2,000万人と推計され、約6人に1人が糖尿病に罹患している可能性があります。

2. 糖尿病の自覚症状と合併症

糖尿病は、初期には自覚症状はありませんが、高血糖状態が続くと自覚症状が出てきます。

高血糖でみられる主な症状

- ・口やのどが渇く
- ・多量の水を飲む（多飲）
- ・トイレの回数が多い（頻尿）
- ・疲れやすい
- ・目がかすむ
- ・かぜをひきやすい
- ・体重が減った 等



糖尿病の合併症

大きな血管が傷害されると

脳梗塞

心筋梗塞 狭心症

末梢動脈疾患

潰瘍→壊疽→切断

細い血管が傷害されると

糖尿病網膜症

→失明

糖尿病腎症

→人工透析

糖尿病神経障害

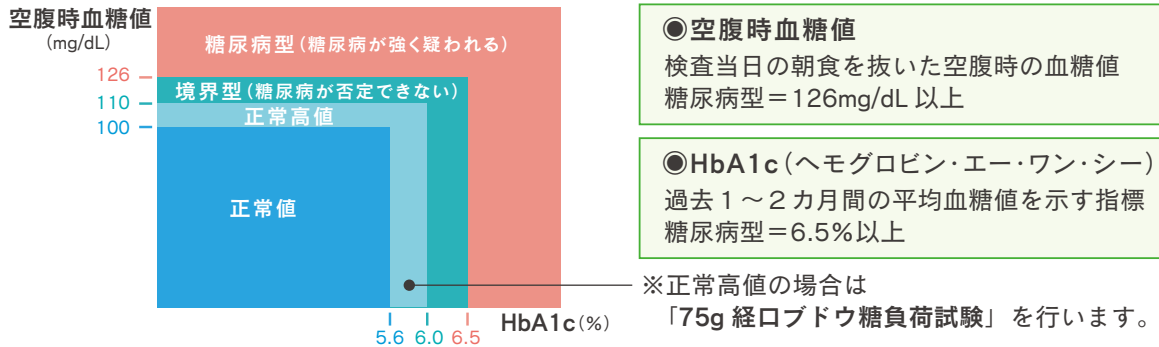
→冷感・しびれ

高血糖状態が続くと、
**神経障害が5年以内、網膜障害が10年以内、
腎障害が15年以内**に発症する可能性が高くなります。

JR札幌病院が取り組む「糖尿病」診療

糖尿病の診断と合併症のチェック

●一般的に糖尿病は「空腹時の血糖値」と「HbA1c」の2つの結果をもとに診断します。



●糖尿病の罹患者は、合併症のチェックを定期的に行うことが大切です。

血管 (動脈硬化) のチェック

血圧脈波検査 (ABI)

頸動脈エコー検査

造影CT検査 (冠動脈・下肢血管)

糖尿病腎症のチェック

尿検査 (尿蛋白・アルブミン)

血液検査

- ・尿素窒素 (BUN)
- ・クレアチニン～GFR 算出
- ・血清シタチン C

糖尿病網膜症のチェック

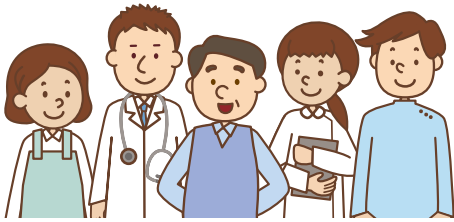
眼底検査

蛍光眼底造影検査

光干渉断層計による検査

糖尿病の治療

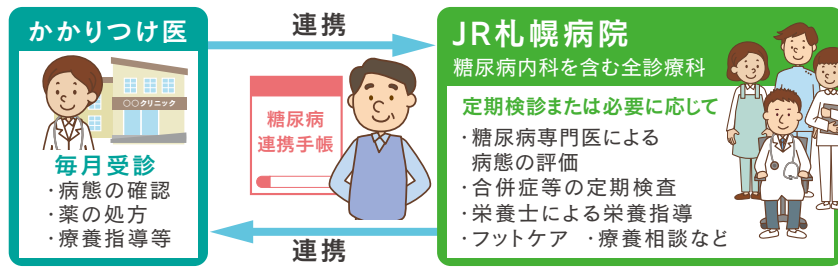
●糖尿病の治療目的は「血糖値をコントロールして、健康寿命を延長する」ことにあります。



糖尿病の治療は、生涯継続する必要があります。患者さんが治療を中断しないよう、サポート体制の充実が大切です。

	血糖値をコントロールするための治療	
1型糖尿病	すい臓の障害が原因で発症 すい臓の機能改善	薬物療法 インスリン製剤の注射
2型糖尿病	肥満等によりすい臓の機能低下が原因で発症 肥満等の改善	運動療法 + 食事療法
	運動・食事で改善できなかった場合	薬物療法 ・経口血糖降下薬 ・インスリン注射等

JR札幌病院は地域の中核医療機関として「かかりつけ医の先生」と緊密に連携し、糖尿病患者さんの重症化予防に「糖尿病療養支援チーム」が適切なサポートを行います。



「糖尿病療養支援チーム」は、糖尿病内科の医師を中心に、糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師、管理栄養士、検査技師、循環器医師等が参加しています。

監修医師プロフィール

富樫 信彦 先生 Nobuhiko Togashi

糖尿病内科
ホームページ



□ 学会認定等 (専門医、認定資格)

□ 専門領域

- ・日本内科学会認定・総合内科専門医
- ・日本循環器学会認定循環器専門医
- ・日本腎臓学会認定腎臓専門医・指導医
- ・日本高血圧学会認定高血圧専門医・指導医
- ・日本透析医学会認定透析専門医
- ・日本糖尿病学会認定糖尿病専門医・指導医

- ・循環器内科一般、腎臓内科・透析、糖尿病、高血圧

アクセス

Google Map



JR JR 札幌病院

JR北海道

札幌市中央区北3条東1丁目

TEL 011-208-7150